



いたばし 2024
人と未来を創る会社賞

人を育て、従業員とともに
成長に向けて取り組む会社を表彰します

《令和6年度いたばし人と未来を創る会社賞について》

いたばし人と未来を創る会社賞は、地域に根差し、人を育て、成長につながる努力をし続ける企業等を表彰するとともに、その優れた取り組みを発信することで、区内企業等が持続的成長に向けた経営をめざすきっかけをつくり、区内産業の持続的発展を図ることを目的としています。

表彰される取り組み

- ① 企業等の成長・持続的発展に関する取り組み
- ② 従業員の仕事に対するやりがいの向上に関する取り組み
- ③ 従業員の働きやすさの実現に関する取り組み

応募要件

- ① 中小企業基本法で定義する中小企業者に該当する中小企業及びこれに類する中小事業者であること
- ② みなし大企業でないこと
- ③ 板橋区内に本店登記・本社機能・主たる事業所があること
- ④ 雇用保険に加入する従業員を1名以上雇用していること
- ⑤ 労働関係法令等に関し、重大な違反がないこと
- ⑥ 取り組みについて、実施内容、導入手順及び運用方法等の公表が可能であること

事業経過

- ① 募集：令和6年4月11日～5月15日
- ② 応募総数：4件
- ③ 審査会委員
学識経験者4名、中小企業診断士1名、社会保険労務士1名
- ④ 審査方法
・ 第一次審査（令和6年5月15日～5月31日）
・ 第二次審査（令和6年7月10日～8月8日）
・ 審査会（令和6年8月29日）
※将来性・やりがい・働きやすさの点から審査を行います。
- ⑤ フィードバック
第二次審査まで進まれた企業等全てに、専門家による評価と今後の取り組みへのアドバイスをまとめた評価レポート及び第二次審査で実施した従業員アンケート結果を提供し、審査後に表彰・非表彰に関わらず、フィードバックの訪問を実施
- ⑥ フォローアップヒアリング
表彰企業等は3年後にフォローアップヒアリングを実施。内容は表彰後における取り組みの実施状況、労働環境及び労働関係法令の遵守状況等の確認とさらなる発展のアドバイスを行う



DATA

代表者名 佐藤 亮太
創業年月 1985年7月
所在地 東京都板橋区
東新町1-17-1
電話番号 03-3554-5461
F A X 03-3554-5460
業種・事業 結束バンド等の卸売業
総従業員数 24名(男性12名・女性12名)
2024年8月31日現在
URL <http://www.sg-net.co.jp/>



将来性

●「成長に向けた取り組み」

企業の成長のために、以下2点に取り組まれています。

- ① 営業開拓：付加価値向上のために、従業員の教育に重点をおいています。
- ② 戦略共有：年に一度社長による戦略共有があり、日々の業務でもしっかり従業員が意識するフローができています。
持続的発展に対しても、バイオマス由来の原料活用など、Co2の排出抑制する取り組みを具体的に推進されています。

●「SDGs への貢献・取り組み」

プラスチック製品製造・販売の会社として、地域と地球の環境に配慮しながらSDGs目標12「つくる責任つかう責任」を日々追求している姿勢が高く評価されます。端材利用のみならず使い古しの漁網を再利用した商品開発に成功し、コストにも競争力のある形で市場投入された点も良い取り組みです。環境配慮が世界標準となる中、さらなる製品開発と販路の拡大に期待します。

やりがい

社長の従業員を巻き込んで前に進める力が素晴らしく、それを支える以下3つの環境も整備されています。

- ① 能力開発：「従業員の人間としての魅力が増すことが、会社を強くする」という社長のポリシーが資格取得・セミナー参加など自己研鑽できる環境整備に反映されています。
- ② 相談環境：困ったことや、何かチャレンジしたいことがあるときの相談フローやアイデアを社内内で発信・検討できる環境が整備されています。
- ③ 都度称賛：優れた業績、行動をした従業員を朝礼等で称賛する場があります。

働きやすさ

従業員の働きやすさは離職率や残業時間、年次有給休暇の取得率に示されています。フリーアドレスや柔軟な働き方の導入、時間単位の年次有給休暇取得可能な出退勤管理システムが整備されています。中小企業ではまだ浸透していないDC(企業型確定拠出年金)を7年前より導入しており、さらに従業員全員に資格取得の補助を行うなど、従業員の将来を見据えた福利厚生制度を整えています。



DATA

代表者名 石井 洋美
創業年月 1965年4月
所在地 東京都板橋区
板橋2-54-10
電話番号 03-3579-3011
FAX 03-3579-3049
業種・事業 造園業
総従業員数 21名(男性19名・女性2名)
2024年8月31日現在
URL <https://kuriyamazouen.co.jp/>

● 「成長に向けた取り組み」

緑豊かな環境づくりを通じて社会に貢献し、顧客満足を最優先にする理念を掲げます。板橋と江東区有明の拠点間で情報共有し、従業員が丸となって企業成長に向けて動いています。経営支援クラウドを活用し現場の「ふりかえり」と共有しながらPDCAを実践するとともに経営デザインシートの作成、見直しを実施しています。

● 「SDGs への貢献・取り組み」



誰もが楽しめる街づくりや公園づくりを通じて、地域の安全や人々の健康に大きく貢献されている取り組みが高く評価されます。SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」と目標11「住み続けられるまちづくりを」以外にも、都市緑化を通じた気候変動や生物の多様性といったSDGs(目標13と目標15)への貢献も、従業員のみなさんは誇りに思われて良いと思います。剪定残渣の堆肥化や、子どもたちが土に触れる機会の創出などの今後の計画の実現にも期待が高まります。

将来性

全従業員が集まる場が難しい中でも情報共有やコミュニケーションの工夫で従業員間の信頼関係を構築しています。資格取得支援、手当の支給により、従業員のやりがいやモチベーションが向上し、仕事への誇りを持っています。年間休日120日や健康経営優良法人認定など、働きやすい環境が整備され、経営者のきめ細やかなケアも評価されています。自己決定を重視し、チャレンジを奨励する職場で、従業員の成長と企業の発展が促進されています。

やりがい

時間単位での年次有給休暇の取得や、勤務地を選択することが可能であり、働きやすさを向上させるための様々な施策を講じています。従業員に対する安全配慮意識が高く、毎日1時間30分近くの時間を安全管理教育、KY研修に充てています。また、管理栄養士としての顔を持つ社長自らが社内報である「栗山通信」を発行し、健康について一口メモを給与明細と一緒に渡すなど、素晴らしい取り組みを行っています。

働きやすさ



DATA

HINODE

代表者名	吉川 孝
創業年月	1964年2月
所在地	東京都板橋区 新河岸3-8-13
電話番号	03-5997-1235
F A X	03-5997-1308
業種・事業	塗装業
総従業員数	13名(男性11名・女性2名)
	2024年8月31日現在
URL	https://www.hinodetosou.jp/

● 「成長に向けた取り組み」

「空気以外は何でも塗装できる」をモットーに、様々な工業製品や建築物の塗装を行っています。若手クリエーターによる挑戦や、学生向け職場体験・工場見学の受入れなど、若い世代の育成にも積極的に取り組んでいます。また、若手の新工場長の指名やベテランの採用により、柔軟な企業文化を持ちながらも顧客からの信頼を得ています。生産システム導入による効率化と環境配慮も進め、地域貢献活動も展開しており、未来への成長が期待される会社です。

将来性

● 「SDGs への貢献・取り組み」



「ものづくりの街いたばし」の心意気を体現したような、若手クリエーターを惹きつけるための様々な工夫が高く評価されます。SDGsの目標3「健康と福祉」、目標4「教育」、目標9「産業と技術革新」、目標12「つくる責任つかう責任」、目標13「気候変動」以外にも、目標8「働きがい」を意識された経営方針が伝わってきました。環境に配慮した技術力はもちろんのこと、新河岸ミュージカルの開催や工場見学の受け入れなど地域コミュニティとのつながりの強さが、地域の活性化と持続可能なまちづくりに繋がっていると思います。引き続き、地域の中核的なものづくり拠点としての活躍が期待されます。

やりがい

従業員は仕事にやりがいを感じ、職場体験の受入れや有名建造物への塗装が成長の原動力となっています。2時間ごとのミーティングやリーダー会議で工程や手順の見直しを行い、コミュニケーションも円滑です。資格取得が奨励され、外部講師による学習機会も提供されています。複雑で高度な仕事や未経験な仕事も依頼されることから従業員にとってチャレンジのチャンスが多く持てる環境にあります。顧客との交渉に直接関わりながら、顧客ニーズに合った成果物を作り上げることで従業員の達成感が高くなっています。

働きやすさ

工業塗装業ですが工場は臭いも無く安全衛生に配慮されています。作業マニュアルの更新と作業用システムの導入により、不良品の削減・材料の適正化が図られ時間外労働が削減されました。また、休暇制度の導入やコミュニケーションの促進、他業種からの人材の受入れ、定年後の柔軟な働き方など、従業員の働きやすさを重視した多くの取り組みを行っています。年功序列にとらわれない昇進制度や資格取得支援など、従業員の成長を後押ししています。



DATA  Mam Smile

代表者名 坂東 愛子
創業年月 2017年8月
所在地 東京都板橋区坂下
1-18-14ハイツ高富1階
電話番号 03-5944-1296
FAX 03-6800-8286
業種・事業 保育園運営業
総従業員数 15名(男性1名・女性14名)
2024年8月31日現在
URL <https://mamsmile.jp/>

将来性

●「成長に向けた取り組み」

社会課題に真正面から取り組む企業主導型保育園事業であり、子育て支援・ママ支援・キャリア支援の理念の下、きめ細やかな保育の実践で、品質確保、業務効率化、生産性向上が両立できています。看護・栄養・食育・防災等による安心安全への配慮が信頼・支持につながっています。グループ会社の経営資源をフル活用し、将来のコンサルティング事業化に向けて取り組んでいます。

●「SDGs への貢献・取り組み」



グループ会社全体として、誰もが働きがいをもって社会参画できる環境づくりを目指して、SDGs 目標8「働きがい」のみならず、目標3「健康と福祉」、目標4「教育」、目標5「ジェンダー」を視野に入れた複合的な活動を進めていることが高く評価されます。先駆的な取り組みのため困難も多いですが、地域内外の多くの方々との協働により、ますます活躍・発展されることが期待されます。

やりがい

業務合理化や人材定着の工夫を重ねています。特に情報共有会、掲示・連絡徹底、LINE活用によりコミュニケーションを重視しており、昼食を皆で顔を合わせながら取るようにすることで自然と気遣いや意見交換ができる雰囲気作りができています。メンター制度によるフォローや外部講師によるカウンセリング・研修をはじめ、資格取得を奨励するなど、モチベーション向上や、スキルアップにつながっています。

働きやすさ

限られた従業員数でシニアの方や離職された方もシフトにうまく活用することで、従業員の疾病や急病等の突発的な対応も可能としています。

業務の「見える化」に端緒をなし、属人的になりがちな保育の現場に個の思考性を尊重しつつ独自のメソッドで効果効率をはかり、やりがいを重視、職場・保護者との良好な関係を築いています。結果、離職者も少なく、従業員同士も少数ながら助けあい、従業員が確かな自信のもと気持ちよく勤務できています。

【淑徳大学 名誉教授】

岡田 匡令

企業は従業員の働きによって成功が決まります。企業は従業員の人生と共にあり、企業の社会的価値を高めることが従業員の価値も高めることとなります。SDGsに取り組み、経営ビジョンを共有し従業員の能力を引き出し成長を確かなものにする経営を期待しています。

【大東文化大学 経営学部 経営学科 教授】

山田 敏之

これからの中小企業には、第1に社員の挑戦意欲やエンゲージメントを高め、失敗を恐れず挑戦できる組織風土を構築し、社員の創造性発揮を促すこと。第2に既存の強みの深掘りと新たな強みの探索を両立させる「両利きの経営」を実践すること。第3にSDGsの取り組みから得られた新たな気づきや発想の転換を本業に活かしていくことが必要です。

【東京家政大学 人文学部

英語コミュニケーション学科 准教授】

並木 有希

経営者の皆様のお話を聞くと、規模が小さいからこそ、とことんまで極めていける、世界に誇れる技術、最高級の品質、あたたかなケアがあることを実感します。あまり知られていない宝物のような存在に驚かされます。みなさんの事業価値をグローバルなステージで知らしめ、同時にローカルな発展のキープレイヤーとなっていただきたく期待します。

【地球環境戦略研究機関 (IGES)

戦略マネジメントオフィス

ナレッジ・コミュニケーション ディレクター】

大塚 隆志

SDGsの考え方が広く社会に浸透し、経営に取り込まれる企業も増えてまいりました。次なる一手は、それぞれの会社にとって身近なSDGs目標を実践しつつ、さらに多くの目標と自社活動との関連についての考えを深めていくことでしょう。複雑に関わり合う複数のSDGsを視野に、持続可能な地域と社会へとつなげる更なるアクションを進めてまいりましょう。

【一般社団法人板橋中小企業診断士協会】

相澤 繁

環境変化や、未来の「ありたい姿」に向けて解決すべき課題を洗い出し、課題解決に向けてビジネスモデルのブラッシュアップや再構築などに取り組みむことで企業の成長・持続的発展、従業員が働きやすい環境の構築が期待できます。その取り組み姿勢と、従業員をいかにまきこんで従業員自身が成長し、やりがいや主体性が醸成されているかを重視しました。

【東京都社会保険労務士会 板橋支部】

佐藤 信

環境変化が激しい中、企業の成長には、社員一人ひとりの能力向上と組織全体の活性化が不可欠です。そのためには、採用活動の強化、効果的な教育体制の構築、そして情報共有を促進する発信しやすい仕組みづくりが重要です。良好なコミュニケーションを図り、働きやすい雰囲気を作りながら、生産性向上と持続的な成長へとつなげていきたいと思います。

いたばし人と未来を創る会社賞2024

令和6年11月15日発行

編集・発行 東京都板橋区 産業経済部産業振興課

〒173-0004

板橋区板橋二丁目65番6号 情報処理センター5階

TEL：03-3579-2172

物刊行番号
R06-77

くわしくは区ホームページをご覧ください。

